

令和3年7月学校評価アンケート集計結果及び改善プランについて

長門市立深川小学校
校長 大塚 準

平素より本校教育の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、7月に実施しました今年度1回目の学校評価アンケートでは、保護者の皆様に御協力いただき、大変ありがとうございました。先日の学校運営協議会にて、アンケートの集計結果と改善プランについて報告し、今後の対応について検討いたしましたので、下記のとおり御報告いたします。

記

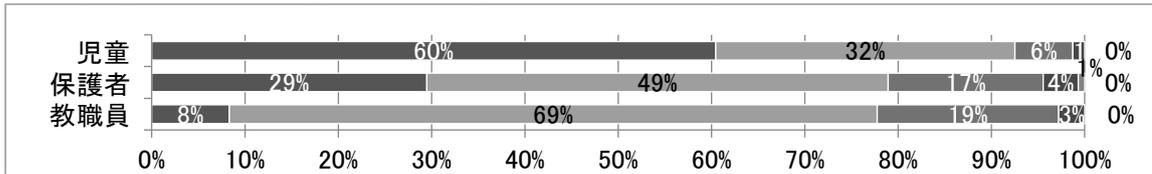
1 アンケート実施概要

- (1) 実施日 令和3年7月9日～14日
- (2) 実施対象 児童 474名 保護者 474名 教職員 35名
- (3) 回収数 児童 471部 保護者 452部 教職員 35部
- (4) 回収率 児童99.4% 保護者95.4% 教職員100%

2 項目別アンケート集計結果及び考察 (○)、並びに改善プラン (☆)

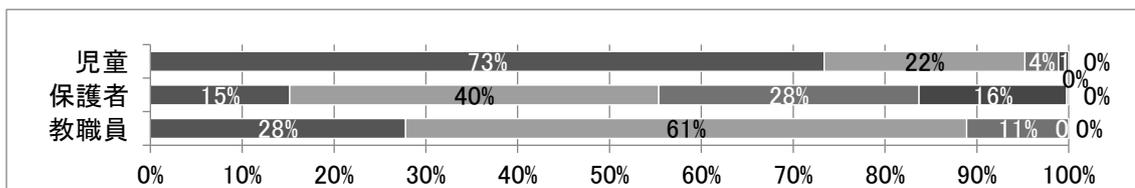


(1) 児童は、「『笑・自・気』あいさつ」をしているか。



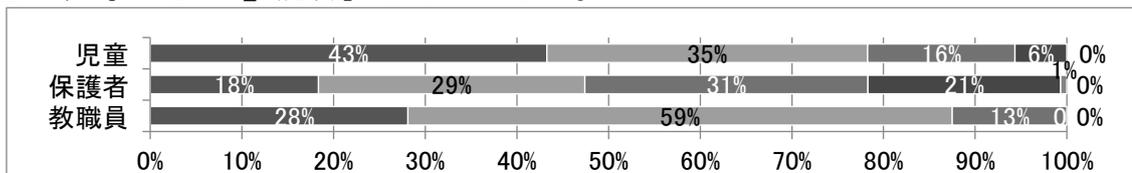
令和2年12月との比較 (肯定的回答) 児童-2P、保護者-1P、教職員-11P

(2) 児童は、「『だ・い・す・き』そうじ」をしているか。



令和2年12月との比較 (肯定的回答) 児童+3P、保護者-1P、教職員+8P

(3) 児童は、「『いち・ご』読書」をしているか。

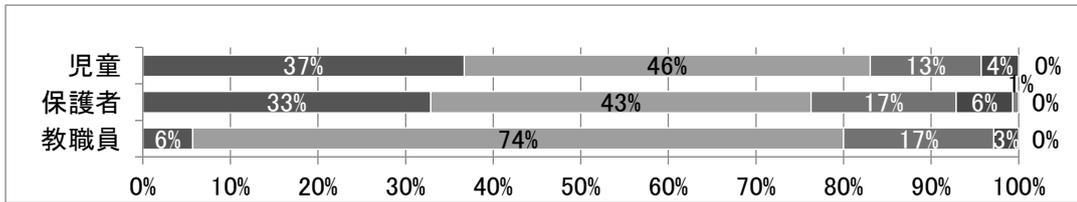


令和2年12月との比較 (肯定的回答) 児童+2P、保護者+8P、教職員+2P

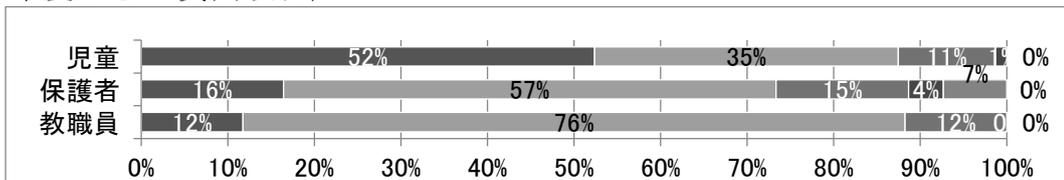
○ チャレンジ目標に関する質問項目については、挨拶については昨年12月と比べて肯定的な回答が減少している。掃除と読書については、肯定的回答が増加しているが児童・教職員と保護者との肯定的回答の差が大きい。学校での成果を家庭にもつなげられるようにしていく。

☆挨拶については、学校運営協議会で協議しており、今後も学校と地域が協力して取り組みます。
 掃除については、正しい掃除道具の使い方の定着や月1回の地域とともに外庭掃除の充実、読書については、家庭と連携した取組の推進を図ります。

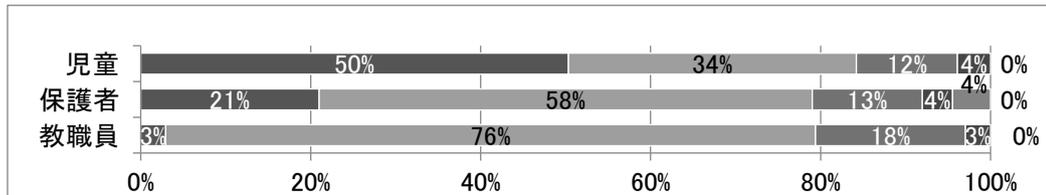
(4) 児童は、授業の構え（筆箱の中身・1分前着席・次の時間の用意）ができているか。
 （今年度からの質問項目）



(5) 児童は、対話的な学びを通して自分の意見を積極的に表現できているか。
 （今年度からの質問項目）

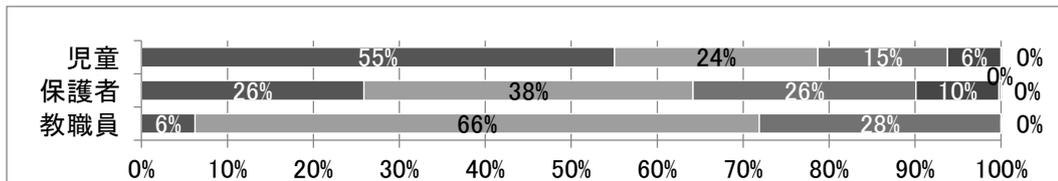


(6) 児童は、人の意見や行動に流されず、自分で考えて判断し、正しく行動しているか。

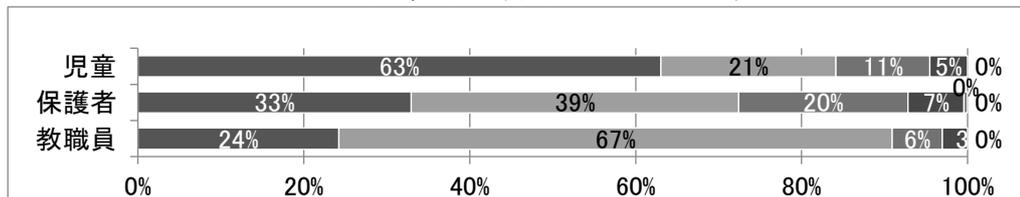


令和2年12月との比較（肯定的回答） 児童－1P、保護者＋1P、教職員－1P

(7) 児童は、「深川deチャレンジ」など体力向上に取り組んでいるか。（今年度からの質問項目）



(8) 児童は、学年にふさわしい時間、家庭学習をしているか。

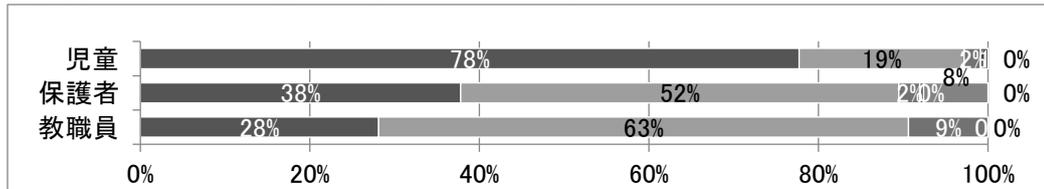


令和2年12月との比較（肯定的回答） 児童－1P、保護者－1P、教職員－2P

○ 児童に関する項目については、質問の内容を新しくした項目もあり、昨年12月との比較が難しい面もあるが、評価はほぼ変わっていない。

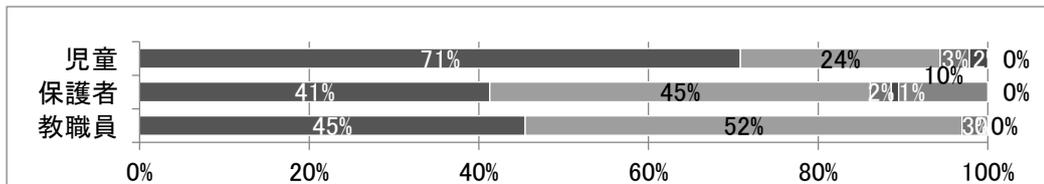
☆ 校内研修の一環で授業に対話的な活動を積極的に取り入れたり、朝のフリートークの時間を継続したりし、「話す」能力を高めていきます。学校や地域の問題について委員会を中心に全校で解決方法を話し合い実践していくことで、「正しい判断力」を養っていきます。「体力向上」については、「深川deチャレンジ」「ラジオ体操」の取組の推進を図るとともに投力を付ける専用の道具を運動場に備える予定です。家庭学習については、習慣化をめざし、家庭との共通理解を一層図っていきます。

(9) 教師は、分かりやすく勉強を教えているか。



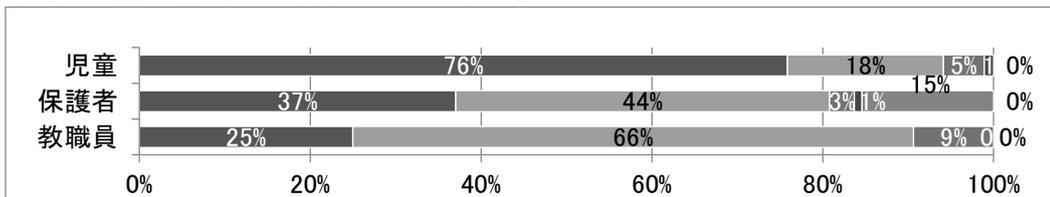
令和2年12月との比較（肯定的回答） 児童－1P、保護者－3P、教職員＋6P

(10) 教師は、児童のよさをよくほめたり認めたりしているか。



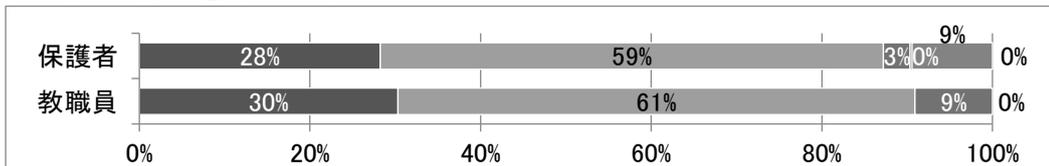
令和2年12月との比較（肯定的回答） 児童－1P、保護者－3P、教職員＋6P

(11) 教師は、児童の話をよく聞いているか。



令和2年12月との比較（肯定的回答） 児童－3P、保護者－6P、教職員＋6P

(12) 教師は、保護者・地域と連携した教育に努めているか。（昨年12月と質問事項が違うため、比較できません）



○

(10)(11)について、「よさを認めてもらえている」「話を聞いてもらえている」と考える児童・保護者が前回より減少していることから、称賛のあり方や相談の機会の持ち方を検討する必要があります。

☆ 学校全体でほめる機会を増やし、担任間でも児童の良かったことについて報告しあうなど連携をとっていきます。ほめる内容として、結果だけでなく過程についてもほめていくよう一層心がけます。児童の話を聞くときには、聞くことだけでなく本人が納得できるよう話をしていくよう努めます。

3 自由記述のまとめ及び改善プラン

※ 主なものを抜粋しています。

意見	改善プラン
(1) コロナが収まっても運動会ではなくスポーツフェスティバル形式のままにしてほしい。	春は気候的にも良く、心配していた1年生としても、できる範囲の準備のもとで実施できよかったと思います。次年度については、新型コロナウイルス感染症の状況が今年度と同様であれば、同じ形でよいと考えています。終息後の運動会としての在り方については、特別活動のねらいを達成する観点から検討するとともに、地域からの要望にも耳を傾け、決定していきたいと考えています。
(2) ノーメディア週間の声掛けが学校からも多少子どもたちに伝えてもらえたらありがたい。	生活リズムチェック週間をみずぐ学園で合わせています。特にこの週間は声掛け・啓発をしていきます。★低学年については、チェックシートの項目が多いという意見もあったので、8～9月に見直し、2回目を実施しました。

<p>(3) 参観日の時間を午後からにしてほしい。仕事の都合で行かれない人が多いと思う。</p>	<p>本来なら、午後からの参観日も設定したいところですが、新型コロナウイルス感染症対策として分散参観日を設定する場合、2・3時間目というように2時間分の授業時間が必要となります。1年生が5校時授業ということから、現時点では、その設定が難しいことを御理解いただけたらと思います。</p>
<p>(4) 夏休み中の懇談会は、家庭での予定や帰省に影響があるのでやめてほしい。</p>	<p>授業時間を確実に確保し、学びの保障をするため、本校では夏季休業中の成績処理と個人懇談を行うことに変更しています。帰省等、御家庭によっては予定に影響する場合もあることは承知していますが、御理解御協力いただけると大変ありがたく思います。</p>
<p>(5) 学級通信や学年通信で学年内や学級内でしか使用されていないと思われる省略語や書き言葉としてはあまり使用されない言葉が比較的頻繁に使われることが多くなってきたような気がする。誰にでも通じる、正しい日本語を使い、身に付けてほしいと思う。</p>	<p>学校での子どもたちの様子を伝える方法として、学年だより等は今後も必要に応じて各家庭に配付する予定です。学年・学級での取組を伝える中で、時に合言葉のような省略語を使用することもあると思いますが、多用することで読みにくさや不適切な書き言葉にならないよう、気を付けていきたいと思います。</p>
<p>(6) 会合などで夜間に小学校に来校した時、玄関や廊下などが消灯されていることが多く、気になる。省エネルギー対策のためかもしれないが移動ややむを得ずトイレに行くときなど、大変危なく感じるとともに、あらかじめわかっている会合の来校時に電気がついていないと、なんとなく気分を害するのは私だけだろうか。</p>	<p>P T A活動等の会合がある時には、担当の教職員が正面玄関や使用する部屋の解錠施錠を受け持っています。廊下の照明等については、遠慮なく御自由にお使いください。安心して活動できるようにしていただければと思います。</p>
<p>(7) 地域住民としての意見として、荒天時に保護者が自家用車などで児童の送迎する時に、教職員が保護者の車をサブグラウンドに、またはサブグラウンドから出車の誘導のみをして、飯山八幡宮方面から国道316号線方面に出る車には何の対応もしない。飯山八幡宮方面からの車は、朝の通勤時に何分もサブグラウンド前で立ち往生をしてしまうことになるので、やむを得ず、危ないと感じながらも隙を縫って通行している。誰も事故は起こしたくないし、誰も朝は急いでいると思う。</p>	<p>これまで、登校時間に大雨などの悪天候が重なった場合には、サブグラウンドの開放のみで誘導はしていませんでした。今年度、誘導することを試みましたが、逆に御迷惑をおかけする形となり、申し訳なく思っています。今後は、これまで通りサブグラウンドの開放のみとします。時間帯によっては、車が込み合うことも予想されますので、安全に留意して出入りをさせていただきます。</p>
<p>(8) 入学時に給食費、P T A会費の金額についての案内が見当たらなかった。</p>	<p>年間を通しての集金額については、明確な金額が決定次第、順次プリント配付にてお知らせしています。新一年生の保護者には、来年度から入学時にどのような集金があるのかを説明に加えたいと思います。</p>
<p>(9) 5分間休憩ではトイレに行くことができず、トイレを我慢することがあると聞く。子どもたちは5分休憩で十分に次の時間の学習準備ができていますか。</p>	<p>5分間休憩は、次の時間の準備と水分補給、トイレに行く時間です。意識して行動すれば無理なくできる時間です。休憩時間を10分とれば昼食の時間や下校時間が遅くなります。教師は授業時間を守り、「ふかわっこ 授業の構え」を各学級で徹底して指導し、子どもたちが時間を意識して行動できるように学校全体で取り組んでいきたいです。</p>